

「翻訳後書換え」と「訳語指定翻訳」の違いは何でしょうか？

「翻訳後書換え」と「訳語指定翻訳」の違いは何でしょうか？

以下、「翻訳後書換え」と「訳語指定翻訳」の違いです。

翻訳後書換え

例えば、日英翻訳の"これはペンです。"が翻訳処理の結果、"This is a pen." と翻訳されるとします。

この結果に対して、例えば以下のように指定して書換える機能が「翻訳後書換え」となります。

pen > pencil を指定

"This is a pen." > "This is a pencil."

訳語指定翻訳

例えば、日英翻訳の"これはペンです。"の"ペン"部分の翻訳処理において、訳候補として以下があったとします。

(1) ペン > pen

(2) ペン > pencil

翻訳処理の結果で(1)が選択されるところを、

指定して(2)にするのが「訳語指定翻訳」となります。

※ 候補によっては、必ずしも指定した対訳が使用されるとは限りません。
